



種高同窓会報

平成11年3月1日第2号

発行／岩手県立種市高等学校同窓会

(題字 佐藤 惇校長)

〒028-7912 岩手県九戸郡種市町第38地割94番地110

TEL 0194-65-2145 FAX 0194-65-5654

編集／岩手県立種市高等学校同窓会報編集委員会

主な内容

あいさつ／2ページ

50周年記念式典を開催／3ページ

同窓会インフォメーション／4ページ



600人が創立50周年を祝い 新たな歴史、切り開こうと決意



校舎正面玄関での受付では懐かしさに思わずほころびも

県立種市高等学校（佐藤 惇校長・生徒286人）の創立50周年記念式典が、昨年の10月3日、同校体育館で挙行されました。この半世紀の節目に、出席した来賓、生徒、教職員、同窓会関係者ら約600人が、新たな歴史を切り開こうと誓いを新たにしました（関連記事を3ページに掲載）。写真（上）は式典であいさつする佐々木繁男協賛会長。

母校や地域の発展に貢献を



同窓会長 松橋武志

緩寒著しい今日このごろ、同窓会会員皆様にはますますご健勝のことと存じます。

皆様にはこの一年、母校の創立五十周年記念事業における募金をはじめ、同窓会名簿



校長 佐藤 惇

同窓生の皆様には、母校の教育活動に対しましてご理解とご支援を賜り衷心より御礼申し上げます。

さて、四月の人事異動により、中野校長先生の後任として着任以来早くも一年になろうとしておりますが、本校に寄せられている期待の大きさと責任の重大さをひしひしと感じております。

本年度は種高にとり、久慈

魅力ある種高づくりに努力

の編集などに多大なるご支援ご協力をいただき、計画された全ての事業が大成を収めることができ、またことに深く感謝申し上げます。

これを機に同窓会を一段と活性化させ、母校や地域の発展に貢献して参りたいと考え、今後の更なるご協力をお願いするものであります。

最後に皆様の今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。

農業高校の定時制分校として開校以来、五十周年を迎えた節目の年でありました。十月三日に記念式典を盛大かつ厳粛に挙行することができました。同窓生の皆様には、絶大ななるご協力・ご支援を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

また、生徒が様々な分野で力量を発揮し、輝かしい成果を収めた年でもありました。高校総体でレスリング部が優勝しインターハイ出場、囲碁と詩吟が全国高校総合文化祭出場、海洋開発科においては岩手県工業高校ロボット競技大会で三位となり全国大会に

つながり深めた東京支部総会 42人に36年ぶりの参加者も

平成十年度の東京支部総会は六月二十日、上野公園不忍池そばの「東天紅」で開催されました。

参加者は昨年三月に卒業した新会員二十三人や三十六年ぶりに参加された方々など、総勢四十二人。出席した松橋武志会長、田口喜一教頭からそれぞれ創立五十周年記念式典への取り組み状況や種市高校の近況を含めたあいさつがあった後、事務局から経過と会計報告が

出場いたしました。あまり目立たないことですが、ほとんどの部が新人大会で地区予選を突破し県大会に進んでおります。これらの全てが、生徒や職員の一生涯の努力が実った結果として喜ばしく、また今後の励みとなる成果であります。

「自愛・自立・自強」の校是のもと、魅力ある種高づくりを目指して努力を惜しまぬ所存でありますので、同窓生各位の変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げます。

行なわれ承認されました。

親睦会では参加者の自己紹介と近況報告が和やかに行なわれました。その後、OBの一人でもある歌手の高城靖雄さんの歌が紹介され大変盛り上がった会となり、各年代のつながりも深まったことと思

います。

本会理事東京支部長の新保幸則さんには忙しい中、会場の手配などのお世話をいただき、無事終えることができました。

ピックアップ

主な行事

平成十年度における種市高校のさまざまな活動から特に目立った成績のものをピックアップしてみました。

国際交流事業

海洋開発科一年の佐々木海君が岩手県の主催する「高校生世界の架け橋推進事業」の環境コースに応募し選考され、十月二十四日から十一月六日までの二週間、同コースを考の他校の生徒らとドイツに派遣されました。派遣先ではゴミ処理などの環境問題を中心とした視察。学習をさせていただきました。

ロボット競技

第六回県工業系高校ロボット競技大会に参加した本校海洋開発科の「スプリガン」が専門校に混って四十一チーム中、三位に入賞し全国大会へ。全国大会では見事、初出場ながら三回戦まで進出しました。



卒業される諸君に今まで経験しなかつた出会い、別れ、喜び、そして悲しみは幾度となく訪れるだろう。

特にビジネスの世界は厳しい。恐らく「こんなはずでは

なかつた」と嘆くことだろう。しかし、失敗しようと挫折しようとして、ガムシヤラにチャレンジせよ。自分を大きくする栄養となるからだ。人生を幸せなものにしていくよう勇気を持って前進していこう。チャレンジ精神を忘れずに。

経歴 昭和五十六年度卒業生 現在、県立宮古商業高等学校に勤務。昨年の三月まで本校で教鞭を執る。

種高史に新ページ

創立50周年記念式典を開催

県立種市高等学校（佐藤惇校長・生徒二百八十六人）の創立五十周年記念式典が十月三日、同校体育館に来賓、生徒、教職員ら約六百人の出席のもと県教育委員会と本校、本校創立五十周年記念事業協賛会（佐々木繁男会長）の共催で行なわれました。

式典は、物故者への黙とうに続いて、佐藤校長が「四千八百有余名の卒業生が国内外で活躍し、中でも百年の歴史を誇る南部もぐりの技術を受け継ぎ、多くの人材が日本の

産業経済に貢献している。輝かしい歴史と伝統を心に刻み、新たな伝統を築き上げたい」と式辞を述べました。続いて五十嵐正興教育次長、佐々木協賛会長のあいさつの後、歴代の校長、PTA会長、同窓会長らに感謝状が贈られ、関根重男町長をはじめとする来賓の方々から祝辞をいただきました。その後、生徒を代表して杉下裕美（普通科二年・川尻）さんⅡ写真上Ⅱが「節目の年を迎え、新たな歴史を切り開くのは私たち一人一人

生徒を代表して力強く決意を述べる杉下さん

決算残金は「基金で運用」

皆さんからの募金や会館建設のために積み立てていたお金などの使途は、会館の建設と設備に約五千万円、記念誌、名簿の発刊と式典祝賀会経費に約七百万円などと使われ、事業の決算で残ったお金については今後の総会などを経て、同窓会、PTA、学校、旧協賛会で構成する組織を発足させ、「種高創立50周年記念教育振興基金（仮称）」として生徒の学力向上などのた

です。人として強く、たくましく成長し、新たな歴史を刻んでいきたい」と力強く決意を述べました。

その後、町民体育館に会場を移し祝賀会が開かれ、出席者らは杯を酌み交わしながら



昔話に浸る恩師と同窓生ら

記念写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせ、旧交を温めていました。



校舎正面から見た白鷺館

めに運用していく考えです。会館の名称は「セミナーハウス白鷺館」（命名者は横手の館石順子さん・48年度卒）となり、生徒の合宿などに利用されています。

潜水初体験 果敢に挑戦

昨年の10月24日、25日の両日、種高祭において海洋開発科が「潜水体験 南部もぐり」を始めての試みとして催したところ、いずれも初体験の22人が果敢に挑戦しました。寄せていただいた体験記の中から一つ紹介します。

南部もぐりに 真の男らしさ

「南部もぐり」は、TVや雑誌で見たことがありました。人類が海に長時間潜るにはどうしたらよいか、それを可能にしたのがこの技術であり、創意と工夫をもってここまで「南部もぐり」の技ができたと思うと南部の先人たちの心意気が私の体に伝わってくるようでした。



潜水具を装着する高島さん

また、人が生命をかけて人の為にやる仕事「南部もぐり」には、真の男らしさがあるような気がします。そして、この技術・技は、後輩たちに受け継がれ、まだまだ改良の余

地があると思います。それを担うのは種高の在校生の方々だと思います。在校生、先生方のますますのご発展を願っております。高島弘成さん（八戸市在住）

平成11年度

同窓会総会

5月下旬に新聞紙上などに案内広告を掲載しますのでご覧ください。

平成11年度 東京支部総会

平成11年6月19日(土)18時～
会場「労働スクエア東京」を予定しています。詳細については新保支部長（東日本海洋会社 ☎0436 225114）まで連絡ください。

新役員名簿

敬称略()内数字は卒業年度

顧問	磯崎武志 (28)
"	岡田光也 (31)
"	佐藤藤一 (校長)
相談役	田口喜一 (教頭)
会長	松橋武志 (28)
副会長	橋本憲一 (44)
"	玉沢修 (40)
理事	佐々木繁男 (31)
幹事	山下ヨリ (42)
監事	鶴本明 (29)
	以下14人 (42)
	以下32人 (29)
	以下51人 (51)

平成10年度 予算

【収入】 単位(円)

項目	本年度予算額
1. 繰越金	244,061
2. 会費	420,000
3. 過年度分	11,400
4. 雑収入	139
合計	675,600

【支出】

項目	本年度予算額
1. 事務費	5,000
2. 通信費	130,000
3. 印刷費	15,000
4. 会議費	70,000
5. 旅費	100,000
6. 事務局手当	20,000
7. 支部援助	20,000
8. 卒業記念	45,000
9. 研修費	150,000
10. 慶弔費	30,000
11. 雑費	40,600
12. 予備費	50,000
合計	675,600

平成10年度 同窓会総会にて 新役員決定! 会長に松橋さん

平成10年度の同窓会定期総会が昨年の六月十一日、JR種市駅前商店街の「なかの食堂」で行なわれました。

この総会に先立ち同日、第一回の理事会が開催され、活

告、十年度の活動計画と収支予算を協議しました。さらに役員改選時期を迎えていたため、選考委員により進めることとなり、合わせて会則の改正も案件となっていたため、

動の経過 報告や収支決算報告 会則を先行して協議した後、新会則に沿って新役員を選考しました。

総会には二十九人が出席し、理事会で決定した案件に対して可否を投じ、ほぼ理事会決定通りとなりました。



主な行事予定

[3月]	6日	卒業式
[4月]	6日	始業式
	7日	入学式
[5月]	27日	高総体開会式
[6月]	5日	同窓会総会予定
	19日	東京支部総会予定

～平成10年度 進路状況～

平成11年2月15日現在

		普通科	海洋開発科	合計
就職	管内	7	1	8
	県内	3	2	5
	八戸	6	1	7
	県外	17	23	40
	小計	33	27	60
進学	その他	7	1	8
	未定	3	1	4
	大学	3	1	4
学	短大	5(1)		5(1)
	高専	1		1
	専門	12(3)	2	14(3)
	小計	21(4)	3	24(4)
合計		64(4)	32	96

()内数字は就職進学者の人数です。

インフォメーション

同窓会の運営をさらに活発にしたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

年会費の納入

誠に心苦しい限りですが、年会費千円をお願いしております。納入につきましては、同封の振込用紙のご利用をお願いいたします。

住所録の整備

創立五十周年を機に同窓生名簿を発行しましたが、住所を確認できない方が約二〇%おります。名簿による住所不明者をご存じの方は、ご一報ください。また住所移動の際にもお知らせください。

記念誌・名簿

創立五十周年記念誌、同窓

編集後記

母校の創立五十周年記念事業成功裏のほんの一端を担った本会に「活性化」という副産物が生まれました。

この機運の継続と会員相互の紙上親睦を図る思いから、この度会報を発刊する運びとなりました。今後とも会員皆様

生名簿各百部のご提供枠があります。希望者は事務局まで連絡ください。

注意!

同窓会の名前で勝手に住所調べや広告依頼などを行っている業者があり苦情が寄せられています。これらの問い合わせには一切かわされぬようご注意ください。変だなどと思われることがありましたら事務局までご連絡ください。

のご支援をいただいで、年刊として継続的にお届けしたいと考えております。

次号向けに、各方面で活躍のOBの方々の紹介や一般投稿などを受け付けています。

また本会の古い会報、活動記録、写真などをお持ちの方がございますたらお貸しいただけませんか。(おさむ)



同窓生名簿



記念誌